司法省總第一二六號

裁判所
檢事局

區裁判所書記規則區裁判所檢事局書記規則地方裁判所書記規則及地方裁判所檢事局書記規則ノ草案及配付候條明治二十四年一月一日ヨリ可成右草案ニ依リ事務取扱フヘシ

右訓令ス

明治廿三年十二月十七日

司法大臣伯爵山田顯義

司法省

1279

司法省總第一二六號附屬

區裁判所書記規則

目錄

第一節　通則

第一條　書記課組織
第二條　外部ノ整理
第三條　應接時間、受付室、受付函
第四條　職務總則
第五條　到來書類
第六條　記錄ノ調製、記錄號
第七條　順次番號、事務番號
第八條　受領日記
第九條　記錄帳簿
第十條　庶務記錄帳簿
第十一條　共助事件簿

114
A2694
1

第十二條　書記ノ獨立ニテ爲スヘキ事務
第十三條　書類ノ差出
第十四條　事務取扱中ノ書類ノ整理
第十五條　命令ノ實行
第十六條　定期簿
第十七條　裁判順序表
第十八條　掲示簿
第十九條　送達
第二十條　執達吏ニ委任ノ紹介
第二十一條　執達吏ト事務交通、執達委任簿
第二十二條　支部事件

第二節　民事

第二十三條　和解事件簿

第二十四條　督促事件簿
第二十五條　民事事件簿、民事被告人見出簿
第二十六條　執行事件簿
第二十七條　民事期日簿

第三節　刑事

第二十八條　內務事務ノ區域
第二十九條　執行、送達
第三十條　刑事期日簿

第四節　附則

第三十一條　第三十二條　附則

書記課組織
外部ノ整理

區裁判所書記規則

第一節　通則

第一條　區裁判所書記課（裁判所構成法第八條）ハ必要アルニ從ヒ之ヲ數部ニ分ツコトヲ得

書記ハ互ニ代理ヲ爲シ又事務繁多ナルトキハ相補助スヘシ

書記課ニ雇員ヲ置キタルトキハ淨書、謄寫及記錄編綴ニ從事セシメ其他書記ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二條　裁判所ノ公廷及各事務室ニハ其入口ニ番號及名稱ヲ掲示スヘシ

廣大ナル裁判所ニ於テハ前項ノ番號及名稱ヲ附シタル圖面ヲ裁判所内適宜ノ場所ニ掲

示スヘシ

各事務室ニハ室内備置ノ什器目録ヲ掲クヘシ

書棚並ニ書類入ノ外ニハ現ニ取扱中ノ事務ニ屬スル記録及書類ニ限リ之ヲ置クコトヲ得

書棚ニハ見出札ヲ附シ明カニ記録及書類ノ區別ヲ示スヘシ

第三條　書記ハ休暇日ヲ除ク外毎日少クモ二時間應接時間ヲ存シ且之ヲ裁判所内適宜ノ場所ニ掲示スヘシ

書記ノ應接時間ハ地方裁判所長之ヲ定ム

事務繁多ナル區裁判所ニハ書類ノ受付其他

應接ノ爲別ニ一室ヲ設クルコトヲ得

應接時間外ニ書類ヲ差出ス者ニ便スル爲必要ナルトキハ裁判所内便宜ノ場所ニ書類受付函ヲ置キ毎日二回以上廷丁ヲシテ開函セシムヘシ但開函時限ハ函面ニ表示スヘシ

第四條　書記ハ調書、公判始末書、文書（判事ノ命ニ依リ起草スル文書）正本、抄本、謄本、認證書、判決確定證明書及執行文ヲ作リ記録及書類ノ整頓、保存ヲ掌リ帳簿及表ヲ作リ其他事務取扱上必要ナル事務ニ服スヘシ

監督書記ハ主トシテ司法行政ニ係ル事務ヲ執リ且統計ニ係ル事務ヲ總括スヘシ

監督書記差支ノ場合ニ於テハ監督判事ノ指

定シタル書記其職務ヲ行フ

第五條　裁判所ニ到來ノ封書ハ其宛名ニ從ヒ主務ノ判事若ハ書記之ヲ開披ス單ニ裁判所宛ノモノハ監督判事之ヲ開披シ書記課宛ノモノハ監督書記之ヲ開披ス

書類ヲ受付クルトキハ書記其外面ノ見易キ所ニ年月日ヲ記入シ附屬ノ書類アルトキハ其數ヲ附記スヘシ

若シ書類受付ノ當日主務書記ノ手ニ達セサルトキハ主務書記ハ更ニ其受付ノ年月日ヲ記スヘシ

第六條　同一ノ民事、刑事ノ事件ニ關スル書類ニ付記錄ヲ作ル又同種ノ事件ニ關スル書類

ハ類聚記錄又ハ庶務記錄ト爲スコトヲ得

各記錄ニハ記錄號ヲ附ス記錄號ハ各事件簿ノ符號文字（通常訴訟ナレハ「ハ」證書訴訟ナレハ「ニ」ト稱スルノ類）及進行番號ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル（例ヘハ通常訴訟ニシテ二十三年第一號ナレハ「ニ三（ハ）一」ト記シ督促事件ニシテ二十三年第二號ナレハ「ニ三（ロ）二」ト記スルノ類ノ如シ）

庶務記錄號ハ庶務記錄帳簿ノ節ノ數字及其番號ヲ以テ之ヲ作ル（例ヘハ第二節ノ（ロ）ノ第十六號ナレハ「貳（ロ）一六」ト記スルノ類ノ如シ）

檢事局ノ書記課ニ於テ記錄ヲ作リタル事件ハ區裁判所ハ其記錄號トシテ檢事局ノ記錄

號ヲ用ユ

記錄ハ每葉丁數ヲ附ス其表紙ハ厚紙ヲ用ユヘシ控訴院長ハ事件ノ種類ニ依リ定式ノ表紙ヲ用ヒサルコトヲ定メ且通常ノ紙ノ表紙ヲ用ユルコトヲ定ムルヲ得

表紙ニハ裁判所及事件ノ名、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名并ニ記錄號ヲ記シ勾留事件ハ勾留事件タルコト其他特別ニ至急ヲ要スル事件ハ至急事件タルコトヲ記スヘシ

記錄ヲ既濟トシテ藏置スルコトハ事件終局ノトキ判事ノ命令ニ從ヒ之ヲ爲ス

記錄ノ表紙ニハ既濟トシテ藏置スル年度及

順次番號
事務番號

保存ノ終ル年ヲ記スヘシ

類聚記錄ハ一年間ヲ一冊又ハ數冊ニ編綴シ其表紙ニハ單ニ事件ノ名、既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ル年ヲ記スルコトヲ得

第七條　同一ノ記錄ニ屬スル書類ハ其記錄ノ初メニ番號目錄紙ヲ附シ書類ノ順次番號及其日附ヲ記ス同一ノ事務年間ノ書類ニハ其年數ヲ題記シ次ニ順次番號及日附ヲ記スヘシ但送達證書及交付證書ニ付テハ判事命令ノ記載ヲ要スルトキノミ之ヲ登記ス

順次番號ハ記錄ニ於ケル書類ノ前後ヲ定ム

附屬書類ニハ番號ヲ附セス必要ナルトキハ或ル番號ノ書類ニ附屬スルモノナルコトヲ

記ス(例ヘハ「一二」ト記シ第一號書類ニ附屬ノ旨ヲ示スノ類ノ如シ)

番號目錄ニ順次番號及日附ヲ登記シタル後其順次番號及記錄號ヲ各書類ノ第一丁ノ右ニ併記シ事務番號ト爲ス

記錄號ハ當事者ノ差出ス書類ニモ之ヲ用ヒシムルコトヲ得

處分濟ノ書類ヲ記錄ニ綴込又ハ之ヲ他ニ遞付スルトキハ目錄ノ番號ヲ抹消シ且書類ヲ他ニ遞付スル場合ニ於テハ其遞付先ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

和解事件又ハ督促事件ニ屬スル書類ニハ順次番號ヲ附セス單ニ記錄號ヲ附ス

第八條 調製シタル記錄ニ附スヘキカ又ハ其書類ヲ以テ新ニ記錄ヲ調製スヘキカ又ハ何レノ帳簿ニ記スヘキカノ疑アル書類ハ書記之ヲ受領日記ニ記シ假ニ日記ノ符號文字及進行番號ヲ附スヘシ(例ヘハ「シリ」ノ「一」ト記スルノ類ノ如シ)

受領日記ハ左ノ數欄ニ分ツ

一 每年進行番號
二 到來ノ月日
三 事件ノ標目
四 書類ノ遞付先
五 書類ヲ附シタル記錄

第九條 記錄ハ帳簿(即チ事件簿)ニ登記シ且其

登記ノ順序ニ從ヒ之ヲ保存ス
帳簿ハ一年一冊ト爲スヲ例トス然レ圧事務年度終リタル後前年度ノ分ト合綴スルハ便宜ニ任ス
一年間帳簿ニ記載シタル結果ハ年末ニ至リ集合シテ事務一覽表ニ掲クヘシ新タニ調製スル帳簿ニ記錄ヲ移記スルコトハ(此場合ニハ從來ノ記錄號ヲ附スヘシ)第三年ノ初メニ於テ尙ホ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス民事訴訟記錄ニ在テハ第四年ノ初メ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス前年ノ帳簿ニ月日ヲ記入スルトキハ其記入ノ年ヲ附記スヘシ

第十條　庶務記錄ノ帳簿ハ書式第一號ニ從ヒ

之ヲ作ル
庶務記錄帳簿ハ事件ノ種類ニ從ヒ數節ニ分チ之ヲ記ス
庶務記錄トハ司法ノ行政及監督事務ニ屬スル記錄其他特別ノ規程ニ係ル帳簿ニ載スヘカラサル一切ノ記錄ヲ謂フ

第十一條　區裁判所及書記課ニ宛タル他ノ官廳ノ囑託ニ關スル書類ハ書式第二號ニ從ヒ共助事件簿ニ記スヘシ
記錄號ハ帳簿ノ進行番號、「キシ」ノ符號文字ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル(例ヘハ「二三(キシ)一」ト記スルノ類ノ如シ)
受託ノ裁判所又ハ書記課ニテ成立チ囑託官

廳ニ遞付セサル書類ハ類聚記錄ト爲スヘシ

第十二條　書記ノ獨立ニテ終局シ得ヘキ申立ハ假令裁判所宛ナルモ書記之ヲ終局ス其申立不當ナルトキハ之ヲ却下シ文書ニテ申立ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ文書ノ餘白ニ記入シテ却下スヘシ

書記ヨリ他ノ官廳ニ爲スヘキ通知又ハ囑託ハ原本一定ノ用紙ヲ用ユヲ以テスルヲ例トス此場合ニ於テハ其文意ヲ關係書類ニ附記シ關係書類ナキモノハ帳簿ニ登記スヘシ但原案ノ殘置ヲ要スルモノハ其事件ノ記錄ニ附ス

書記ハ調書、呼出狀、召喚狀、勾引狀、勾留狀、送達狀、公判始末書、闕席裁判告知書、正本、抄本、謄本、

證明書及認證書ニ官及氏名ヲ記シ捺印ノ上裁判所ノ印ヲ捺スヘシ其他書記ノ獨立ニテ作ルヘキ文書ハ官及氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第十三條　書記ノ獨立ニテ終局スヘカラサル到來書類ハ記錄ヲ添付シ判事ニ差出シ命令ヲ待ツヘシ（判事ノ命令ハ書類ノ餘白ニ略記ス）送達證書ハ判事命令ノ記載ヲ要スルトキ又ハ書記其職務上ノ調査ニ依リ正式ノ送達ナカリシコトヲ見出シタルトキノミ之ヲ差出スヘシ

第十四條　事務取扱中ノ書類ハ事務取扱上經過ノ程度ニ從ヒ之ヲ區別ス例ヘハ

一事務番號ヲ附スヘキ書類（新事件）

二 判事決定又ハ命令ヲナス爲ニ差出スヘキ書類
三 寫字生、執達吏等ニ交付スヘキ書類
四 既濟ノ書類

事務取扱中ノ書類ニハ之ニ屬スル記録又ハ關係書類ヲ添附ス特別ノ原因殊ニ記録及其附屬書類ノ大部ナル爲メニ分離ヲ要スルトキハ合併スルヲ得ルニ至ル迄各別ニ之ヲ保存ス

書記ハ到來シタル書類ノ遞付先ヲ證明スヘキモノトス

記録ノ終局遞付ハ記録帳簿ニ證記シ書類ノ終局遞付ハ番號目録ニ證記スヘシ

第十五條 判事ヨリ起草ヲ命セラレタル文書ハ解シ易キ官用ノ文章ヲ以テ之ヲ記シ其文書ニハ事件ノ標目及事務番號ヲ附記シ且欄外ニ取扱ノ種類(例ヘハ郵便ニ付スル送達、郵便ニ依ル送達、書留郵便、執達吏ニ依ル送達、無手數料送達、送付等)ヲ記シ之ニ從ヒ淨書及謄本ヲ作ル此場合ニ於テ執達吏ハ其受取ルヘキ書類ニ依リ何人ノ委任ニ依リ何人ニ送達スヘキカ又如何ナル手續ニ依リ送達スヘキカ又至急ヲ要スルヤ否ヲ知ルヘキモノトス

右ニ付書記ハ書類ニ必要ナル附記ヲ爲スヘシ送達及交付ノ種類ハ略語ヲ以テ記スルコトヲ得

司法省

官廳ヘノ回答書ニハ其官廳ノ事務番號ヲ記スヘシ書式ヲ用ユヘキトキハ之ヲ命令ニ掲ケサルトキハ書記其書式ヲ記スルコトヲ要ス(例ヘハ書式「二五二」ト記シ書式第二十五號ニ從フヘキコトヲ示スノ類ノ如シ)判事ノ命令ニ依リ書記ノ作ルヘキ文書ハ調査ノ爲判事ニ差出スヘシ

記錄遞付ノトキ判事ノ特ニ命令アルトキニ限リ其謄本ヲ殘シ置クヘシ

書記ハ判事若ハ書記ノ署名シ又ハ認證スヘキ淨書ヲ原本ト校合シ且判事ノ署名スヘキモノハ之ニ檢印シテ誤謬ナキコトヲ證スヘシ

第十六條　書記ハ職務上注意スヘキ期日(民事ノ口頭辯論、刑事ノ公判ノ爲メ期日ヲ除ク)及期間ノ爲書式第三號ニ從ヒ定期簿ヲ作ル進行番號ハ登記ヲ爲ス日毎ニ數字ノ一ヲ以テ始ム

定期簿ハ一年中日々記入スヘキ事務ノ多少ヲ測リ紙中ニ餘白ヲ存シテ豫メ月日ヲ配記スヘシ

定期簿ハ後日ノ事務ヲ命令又ハ決定ノアリタル日ニ記スルモノナリ(例ヘハ一月十日ニ判事法律上共助ノ爲某證人ヲ一月二十日ニ呼出スノ命令ヲ爲ストキハ書記一定ノ書式ニ依リ之ヲ實行スル際此定期簿ノ一月二十

日ノ部ニ之ヲ記入シ又二月一日ニ十四日間ニ某ノ事ヲ爲スヘキ旨ヲ決定シタルトキハ二月十五日ノ部ニ之ヲ記入スルノ類ノ如シ」

記錄ハ判事ヨリ他ノ命令ナキトキハ期日ヨリ二十四時間前ニ差出スヘシ

記錄ヲ判事ニ差出シタルトキハ進行番號ヲ抹消シ之ヲ表示スヘシ

期日ニ作リタル調書ハ定式ノ手續ヲ履践シタル後書記記錄號ヲ附シ直チニ定期簿ニ記スヘシ

第十七條　裁判期日ニハ當日開廷スヘキ事件ノ順序表ヲ作リ裁判所内適宜ノ場所ニ揭示スヘシ

順序表ニハ毎日進行番號、記錄號、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名及期日ノ時刻ヲ記スヘシ

第十八條　法律上揭示ヲ爲スヘキ事件即チ公示催告（民事訴訟法第七百六十四條以下）公示送達（民事訴訟法第百五十六條以下）强制競賣（民事訴訟法第六百六十一條）等ニ付テハ書式第四號ニ從ヒ揭示簿ヲ作ル

揭示書類ニハ貼附、除去ノ際「裁判所揭示板ニ貼附ス」「裁判所揭示板ヨリ除去ス」トノ旨ヲ記シ其他年月日、官氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第十九條　書記ハ遲滯ノ恐レアルトキ又ハ費用ヲ節減シ得ヘキトキハ郵便ニ依リ送達ヲ

執達吏ニ委任ノ紹介

爲サシムヘキモノトス（民事訴訟法第百三十六條第三項第四項、刑事訴訟法第十九條）但特ニ執達吏ノ送達ヲ要スヘシト思料スルモノハ此限ニ在ラス

送達證書ヲ要セサル送達（法律ノ規程ニ拘ハラサル送達）ハ郵便ヲ以テ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ廷丁ヲシテ郵送シタルコトヲ證セシムヘシ

公示送達ハ前條ノ手續ニ從ヒ且之ヲ證スヘシ

第二十條　書記ハ裁判所ニ繫屬シタル事件ニ付テハ民事、刑事ノ訴訟法ニ依リ獨立ニテ又ハ原被告ノ求ニ依リ執達吏ニ送達ヲ委任スルノ義務アリ

執達吏ト事務交通

執達委任簿

第五號

書記ハ原被告ノ求ニ依リ執達吏ニ強制執行ヲ委任スルノ義務アリ

第二十一條　書記ト執達吏トノ委任授受ハ可成口頭ニテ之ヲ爲スヘシ

直チニ執行スヘキ委任ハ執達吏ニ送付ス其他ノ委任ハ閉鎖スヘキ書函ニ書類ヲ差入ルヽヲ以テ之ヲ爲ス書函ノ鍵ハ書記執達吏各一個ヲ持ツモノトス

書函ハ委任ニ關スル書類ヲ差入ルヽ爲書記課中ニ之ヲ設ク

書記ハ委任ニ關スル書類ヲ書函ニ差入ルヽトキ相當ノ區別ヲ爲シ置クヘシ（例ヘハ送達、送付、強制執行、執行、費用徵收事件、特別ノ官ノ

委任ノ類ノ如シ）

執達吏ハ定マリタル時間ニ書記課ニ出頭シ且求アリタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ爲シ新委任ニ付遺漏不完全ノコトアルトキハ質問ヲ爲スヘシ

書記ト執達吏トノ委任授受ニ付テハ書面ヲ以テ證スルヲ要セス若シ之ヲ必要トスルトキハ書式第五號ニ從ヒ執達委任簿ヲ作ルヘシ

委任授受ニ委任簿ヲ用ユルトキハ委任書類ニ其帳簿ヲ添ヘ書函ニ差入ルヘシ

第二十二條 區裁判所ニ支部ヲ設ケタルトキ其書記ノ事務ニ付テハ地方裁判所書記規則

ヲ適用ス

第二節 民事

第二十三條 和解事件（民事訴訟法第三百八十一條第一項）ノ帳簿ハ書式第六號ニ從ヒ之ヲ作ル

第三欄ノ期日ハ先ツ定期簿ニ記シタルモノヲ現期日ニ至テ之ヲ記入ス

和解調書ハ和解調ヒタルトキノミ之ヲ作ル（民事訴訟法第三百八十一條第二項）

和解調書ハ和解調書記録ニ編入シ其他ノ書類ハ別ニ類聚記録ト爲ス

第四欄「ハ」ノ小欄ニハ調書記録ノ冊數丁數ヲ記ス

執行正本ノ付與及之ニ付生スル費用ハ和解調書ニノミ之ヲ記ス

第二十四條　督促事件（民事訴訟法第三百八十二條以下）ノ帳簿ハ書式第七號ニ從ヒ之ヲ作ル

支拂命令（民事訴訟法第三百八十四條）又ハ執行命令下付ノ申請（民事訴訟法第三百九十三條）並ニ異議ノ申立（民事訴訟法第三百八十八條）ニ付書記ハ調書ヲ作ルヲ要セス直ニ命令書（一定ノ用紙ヲ用ユ）ヲ作リ異議ハ直ニ債權者ニ通知（民事訴訟法第三百九十一條）シ若シ異議申立ノ證ヲ求ムルトキハ之ヲ債務者ニ與フヘシ但書記其申請申立ヲ不當ナリトスルモ當事者尚ホ主張スルトキハ其調書ヲ作ルヘシ支拂命令、執行命令及却下命令ニ付テハ謄本ヲ留ルヲ要セス單ニ事件簿欄內ノ記入ニ止ム却下ハ調書ノ餘白又ハ申請書ニ判事記入ヲ爲シテ之ヲ下付スルヲ例トス

督促事件ニ屬スル書類ハ類聚記錄ト爲ス

却下後再呈出ノ申請ハ新事件トシテ番號ヲ附ス

第三欄ニハ請求ノ價額ヲ記ス若シ其一部分ノミニ付申請ヲ許容シタル場合（民事訴訟法第三百八十五條第二項）ニハ其許容シタル價額ヲ記スヘシ

第五欄ノ「ロ」及「ハ」ノ小欄ニハ日附ノ外書記捺

印ヲ爲シ責任ヲ明ニスヘシ若シ債務者數人アルトキハ異議申立人及執行命令ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

異議ノ申立アリテ訴訟ト爲リタルトキ（民事訴訟法第三百八十八條第三百八十九條第三百九十條）又ハ故障ヲ申立タルトキハ（民事訴訟法第三百九十四條）民事事件簿ニ記入シ故障ノ場合ニハ其記錄號ヲ第六欄ニ記ス是レ民事訴訟法第五百十九條第一項、第五百二十三條、第五百六十一條第一項ニ從ヒ執行文又ハ執行命令第二ノ正本ヲ付與スヘキヤ否ヲ記錄ニ依リ調査スルニ便スルナリ

執行文又ハ執行命令第二ノ正本ノ付與ヲ爲

シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ記入シ書記捺印スヘシ

第廿五條 民事事件ノ帳簿ハ書式第八號ニ從ヒ之ヲ作ル（和解、督促手續及執行裁判所トシテ管轄スルモノヲ除ク）

第一欄ニハ訴ヲ提起シタル月日ヲ記ス

第二欄ニハ權利拘束ト爲リタル月日（民事訴訟法第百九十五條）ヲ記シ和解ヲ經タルモノナルトキハ口頭辯論ノ月日ヲ記シ（民事訴訟法第三百八十一條）督促手續ヲ經タルモノナルトキハ支拂命令ヲ送達シタル月日ヲ記シ（民事訴訟法第三百八十七條）豫メ期日ノ指定ナクシテ辯論ヲ爲ス場合（民事訴訟法第三百

七十八條)ニハ其調書ノ日附ヲ記ス
第六欄ニ記スヘキ進行番號ハ各小欄ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム其番號ハ記錄號ヲ作ル爲ニ用ユ(例ヘハ二十三年ニ於テ既ニ同種ノ事件十一件裁判所ニ繫屬シタルトキハ新タニ繫屬スル證書訴訟ハ「一二三(二)一二」ト記スルノ類ノ如シ)
禁治產ノ決定アリタルトキハ第六欄「ハ」ノ小欄ノ番號ノ側ニ畫線シ見出ニ便スヘシ
强制執行處分ニ因リ義務ヲ辨濟スル資力ナキ債務者ニ對シ「家資分散者タルノ宣告ヲ爲シタルトキハ(家資分散法第一條)第六欄「ヘ」ノ小欄ニ記シ且備考ノ欄ニ之ヲ表示スヘシ

裁判所ニ繫屬シタル訴訟外ノ申立(民事訴訟法第三百六十六條第三項、第九十三條等)又ハ本案ト共ニ裁判セサル假差押、假處分(民事訴訟法第七百三十九條第七百六十一條)ニ關スル書類ハ類聚記錄ト爲ス
通常訴訟、證書訴訟及爲替訴訟ニ付テハ五ケ年ヲ包括スル民事被告人見出簿ヲ作ル見出簿ハ被告ノ氏ノ頭字ヲイロハ分ト爲シ年々ノ件數ヲ概定シ同字ニ屬スヘキ氏ノ多少ヲ測リ豫メ餘白ヲ存シイロハ文字ヲ配記スヘシ
見出簿ニハ別ニ二欄ヲ設ケ原告ノ氏名及記錄號ヲ記スヘシ

判決確定ノ證明書（民事訴訟法第四百九十九條）及執行力アル正本ヲ求ムル申立（民事訴訟法第五百十六條）并ニ强制執行ニ關スル申立（區裁判所本案ニ付管轄權ヲ有スル場合ヲ除ク）ニ付テノ書類ハ訴訟記錄ニ附ス

一訴訟トシテ提起シタル數個ノ請求又ハ被告ノ反訴ヲ分離シテ各別ノ訴訟ト爲シタルトキハ（民事訴訟法第百十八條）一ハ舊番號ニ依リ他ハ新番號ヲ附ス

左ノ事件ニハ各新番號ヲ附ス

一證書訴訟ニ於テ被告ニ留保シタル權利行使ニ付テノ訴訟手續（民事訴訟法第四百九十二條）

二公示催告ノ申立（民事訴訟法第七百六十五條）數個ノ公示催告ヲ合併シタル場合亦同シ（民事訴訟法第七百七十六條）

三假差押（民事訴訟法第七百四十條）假處分（民事訴訟法第七百五十六條）ノ申請

禁治産事件ニ付事務一覧表ニ掲クヘキ事項ハ備考ノ欄ニ記スヘシ

上訴アリタルトキハ其上訴アリタルコト及其結果又訴訟上救助ニ係ルモノハ其旨ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ又和解、督促手續ヨリ本訴ト爲リタルモノハ前記錄號ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

第二十六條 執行裁判所トシテ任カセラレタ

ル執行行爲ノ處分(即配當、管理等)及其行爲ノ共力(民事訴訟法第五百四十三條)ハ書式第九號執行事件簿ニ記ス其他金錢要求ニ因ル强制執行ノ爲メニアラスシテ申立ヲレタル一切ノ不動産競賣(民法財産編第三十九條民法擔保編第二百七十八條)モ亦此事件簿ニ記ス」

既ニ裁判所ニ繫屬シタル强制執行又ハ强制管理ニ或ル債權者ノ參加スルモ此事件簿ニ記セス

假差押、假處分ノ實行ニ付假差押裁判所其資格ヲ以テ終局スヘキ申立モ亦前項ニ同シ

不動産、船舶ノ競賣、管理及配當手續ニ付テハ記錄ヲ作リ其他ノ申立ニ付テハ類聚記錄ヲ

作ル

第二十七條　口頭辯論期日ニ付テハ書式第十號ニ從ヒ民事期日簿ヲ作ル

期日簿ハ各判事毎ニ一冊ヲ作リ一年度ノ件數事務ヲ測リ餘紙ヲ存シテ豫メ月日ヲ配記スヘシ

第一欄ノ進行番號ハ毎日數字ノ一ヲ以テ始ム第七欄ニハ一年度ヲ通シテ對審ノ數ヲ記ス但裁判ヲ待タス拋棄、認諾ヲ以テ其期日ヲ終局シタルトキハ此欄ニ記セス

期日ノ指定アリタルトキハ書記ハ第一欄乃至第六欄ノ記入ヲ爲シ代理人アレハ亦其氏名ヲ記スヘシ

上訴ニ關シ終局判決ト看做スヘキ中間判決ハ之ヲ終局判決トシテ記ス（民事訴訟法第二百七條、第二百二十八條、第四百九十一條）

第八欄ノ「イ」乃至「ヘ」ノ小欄ニハ請求ノ全部若ハ一部又ハ攻撃、防禦ノ方法ニ付口頭辯論ノ結果ニ屬スルモノヲ記ス故ニ同一事件ニ付數小欄ニ記スヘキコト少カラス

第八欄第九欄ノ記入ハ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ用ユ判事此記入ヲ爲サヽルトキハ書記之ヲ爲ス

豫メ期日ノ指定ナクシテ口頭辯論ヲ開クトキモ（民事訴訟法第三百七十八條）亦其事件ヲ此期日簿ニ記スヘシ

第三節 刑事

第二十八條 記錄ノ調製及保存、刑事ニ於ケル記錄帳簿ノ取扱ハ以下ノ規則ニ從ヒ區裁判所書記ノ主掌ニ屬セサルモノハ檢事局書記之ヲ爲ス

裁判所書記ハ記錄ノ差出ニ付檢事ノ命令ニ從フヘシ

記錄裁判所ニ在ル間ハ其記錄及之ニ附スヘキ到來書類ノ取扱ハ裁判所書記ニ屬ス

第二十九條 裁判所ノ裁判ヲ實行スルニ付裁判所書記ノ事務ハ通則及左ノ規則ニ從フ

公判ニ於テ判事ノ命令ニ依リ爲スヘキ呼出及職權ヲ以テ爲スヘキ送達ハ書記獨立シテ

之ヲ爲ス
執行ニ付檢事ノ指揮ヲ要スル他ノ裁判ハ檢事局ニ交付ス
判事ノ署名ヲ必要トスル書類ハ淨書ヲ添ヘ差出スヘシ

第三十條　公判期日ニ付テハ書式第十一號ニ從ヒ刑事期日簿ヲ作ル
期日簿ハ各判事毎ニ一冊ヲ作リ一年度ノ件數事務ヲ測リ餘紙ヲ存シテ豫メ月日ヲ配記スヘシ
第一欄ノ進行番號ハ毎日數字ノ一ヲ以テ始ム
期日ノ指定アリタルトキハ書記ハ第一欄乃

至第七欄ノ記入ヲ爲スヘシ
公判開廷ノ時間中ハ期日簿ヲ判事ニ差出シ置クヘキモノトス判事第八欄第九欄ノ記入ヲ爲サヽレハ閉廷ノ後書記之ヲ爲スヘシ
第八欄ニハ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ以テ結果ヲ示スヘシ

第四節　附則

第三十一條　會計事務登記事務及民事刑事ノ統計表調製ニ付テハ現行ノ規則又ハ後來定ムル所ノ特別ノ規則ニ從フヘシ

第三十二條　從前ノ規則ニ從ヒ終局スヘキ事件ニ付テハ帳簿ノ記載其他書記ノ事務ニ付テノ現行ノ規則ニ從フヘシ但本規則第二十

八條及區裁判所檢事局書記規則第十一條ニ揭ケタル記錄ノ調製、保存及記錄帳簿ノ取扱ニ關スル規程ハ之ヲ斟酌シテ適用スヘキモノトス若シ右ノ事務區域ニ付疑アルトキハ控訴院長及檢事長之ヲ協議規定スヘキモノトス

書式（用紙美濃紙）

書式目錄

番號	規則ノ箇條	名稱	符號文字
一	一〇	庶務記錄帳簿	
二	一一	共助事件簿	キ　シ
三	一六	定期簿	
四	一八	揭示簿	
五	二一	執達委任簿	
六	二三	和解事件簿	イ
七	二四	督促事件簿	ロ
八	二五	民事事件簿	ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ、
九	二六	執行事件簿	リ、ヌ、ル、ヲ、
一〇	二七	民事期日簿	
一一	三〇	刑事期日簿	

第一號（規則第十條）

明治何年

庶務記録帳簿

某區裁判所

番號	一	一	二		
年度	二	明治六	、		
記錄ノ名稱	三	司法省訓令類聚	、、、、、、、		
册數	四	一	、		
既済年度	五				
保存ノ終ル年	六	永久			
備考	七				

貳ノロ　他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ

一 番號	二 年度	三 記錄ノ名稱	四 册數	五 既濟年度	六 保存ノ終ル年	七 備考
一	明治一五	警察署往復綴	一			
二	〃	〃〃〃〃〃〃	〃			

番號	年度	記錄ノ名稱	册數	既濟年度	保存ノ終ル年	備考
一	二	三	四	五	六	七
	明治二〇	判事何某	何記錄 何册	二三	二九	休職

一庶務記錄ハ數節ニ分チ之ヲ登記ス例ヘハ

第壹節　法律命令及説明

壹ノイ　法律命令ノ類聚

壹ノロ　民事訴訟ニ關スルモノ

壹ノハ　刑事訴訟ニ關スルモノ

壹ノニ　登記ニ關スルモノ

壹ノホ　供託ニ關スルモノ

壹ノヘ　訴訟費用及印紙ニ關スルモノ

壹ノト　雜

第貳節　裁判所ノ構成及組織

貳ノイ　裁判所ノ構成組織ニ關スルモノ

貳ノロ　他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ

貳ノハ　書記以下裁判所職員ニ關スルモノ

貳ノニ　執達吏ニ關スルモノ

貳ノホ　廳內事務室ニ關スルモノ
貳ノヘ　圖書及什器ニ關スルモノ
貳ノト　雜

第參節　身分

參ノイ　判事及試補
參ノロ　書記及雇
參ノハ　廷丁及小使
參ノニ　執達吏
參ノホ　雜

第肆節　統計表諸報告

肆ノイ　民事統計
肆ノロ　刑事統計
肆ノハ　事務一覽表
肆ノニ　雜

一第二欄ニハ記錄ノ年度ヲ記ス
一第五欄ノ既濟年度トハ記錄ノ不用トナリタル年度ヲ謂フ
一第六欄ノ保存ノ終ル年トハ記錄ノ既濟トナリタル後其保存スヘキ年度ヲ謂フ以下保存ノ終ル年ノ欄皆同シ

明治何年

第二號(規則第十一條)

共助事件簿

キシ

某區裁判所

欄	項目				
一	毎年進行番號	一	二		
二イ	月日　囑託	二三 一二ノ五	一二ノ七		
二ロ	月日　到來	二三 一二ノ六	一二ノ九		
三イ	受託官廳　裁判所				
三ロ	受託官廳　書記課				
四イ	囑託官廳　名	某區裁判所	某地方裁判所		
四ロ	囑託官廳　事務番號	二三（ハ）〇一一、	二三（ち）〇二五、		
五	事件ノ標目	送達	拐帶		
六	囑託ノ要旨	裁判言渡書送達ノ件	證人某訊問ノ件		
七イ	終局區別及月日　記錄ノ遞付ニ依リ		二三 一二ノ一三		
七ロ	終局區別及月日　他ノ方法ニ依リ	二三 一二ノ七 書類ヲ送達ノ為執達吏某ヘ			
八	備考				

一此事件簿ハ判事毎ニ一册ヲ作ル以下事件簿皆同シ

一第二欄「イ」ノ小欄ニハ囑託書ノ月日ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ其書類ノ到來セシ月日ヲ記入ス

一第三欄「イ」及「ロ」ニハ裁判所ノ受託ト書記課ノ受託トヲ區別スル爲點ヲ施シ之ヲ表示ス

一第四欄「イ」ノ小欄ニハ囑託官廳ノ名ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ囑託官廳ノ事務番號ヲ記入ス事務番號トハ規則第七條ニ規定スルモノヲ謂フ以下皆同シ

一第七欄「イ」ノ小欄ニハ記錄ノ遞付ニ依リ共助事件ノ終局シタル月日ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ記錄ヲ遞付セスシテ終局スル場合(例ヘハ送達ノ囑託ヲ受ケタル書類ヲ執達吏ニ渡シ終局スルノ類ノ如シ)其月日ト事由トヲ記入ス

第三號(規則第十六條)

明治何年

定期簿

某區裁判所

期日期間

何月何日

一	毎日進行番號	一	二	
二	記錄號	二三 (ヌ) 一	二三 (ヲ) 二	
三	書類ノ順次番號	一〇	二〇	
四	事件ノ標目	何某強制執行	甲ヨリ乙ニ對ス	
五	期日ノ時刻	午前九	午後一	
六	判事ノ氏	某	某	
七	調書又ハ終局書類ノ順次番號及備考	五	六	
八	毎日進行番號	一	二	
九	記錄號			
十 イ	書類順次番號	一	二	
十 ロ	命令ノ年月日	二三 二ノ 二〇	二三ノ 二五	
十一	事件ノ標目	某ヨリ某ニ對ス	某某禁治產	
十二	終局書類又ハ取扱書類ノ順次番號	一〇	一五	
十三	備考			

一此定期簿ハ判事每ニ一冊ヲ作ル

一此定期簿ニハ民事ノ口頭辯論刑事ノ公判ヲ除ク外一切ノ期日期間ヲ記ス

一第一欄第八欄ノ每日進行番號ハ一日ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ期日、期間每ニ數ヲ起シ順次數ヲ逐フテ記入ス以下每日進行番號ノ欄皆同シ

一第三欄ニハ判事期日ヲ定ムルノ命令ヲ記シタル書類ノ順次番號ヲ記入ス此番號ハ規則第七條ノ番號ナリ

一第七欄ニハ期日ニ作リタル調書若ハ第三欄ノ書類ニ記スル命令ニ因リ成立チタル書類等ノ順次番號ヲ記入ス若シ期日前事件結了シタルトキハ其事由ヲ記入シ期日ニ處分ヲ要セサルヿヲ表ス

一第十欄「イ」ノ小欄ニ記入スヘキ番號ハ第三欄ニ同シ「ロ」ノ小欄ニ記入スヘキ年月日ハ判事ノ命令ヲ爲シタル年月日トス

一第十二欄ニハ第十欄ノ書類ニ記スル命令ニ因リ成立チタル書
類等ノ順次番號ヲ記入ス別ニ成立ツ書類ナキトキハ第十欄ノ
書類ノ番號ヲ記入ス若シ期間前ニ事件結了シタルトキハ其事
由ヲ第十三欄ニ記入シ期間ニ處分ヲ要セサルヿヲ表ス

第四號（規則第十八條）

明治何年

掲示簿

某區裁判所

明治何年

執達委任簿

第五號(規則第二十一條)

某區裁判所

欄	號						
每年進行番號	一	一	二				
書類ノ名	二	公示催告	公示送達				
事務番號	三	(ヘ)二 三 二一	(ハ)二 三 一 三				
月日 掲示	イ	二三 二ノ五	五ノ一三				
月日 期間ノ滿了	一四ロ	二三 五ノ五	五ノ二九				
月日 除去	ハ	二三 五ノ五	五ノ二九				
備考	五						

イ三十六

一	毎日進行番號	一	二				
二	官ノ委任 交付ノ月日	二三 二ノ五 ㊞	二ノ五 ㊞				
三	官ノ委任 記錄號	二三 (ハ) 二〇八	二三 (は) 五二九				
四	官ノ委任 當事者又ハ刑事被告人ノ氏名	甲ヨリ乙ニ對ス	何某				
五	官ノ委任 返納月日	二三 二ノ一三	二ノ一三				
六	毎日進行番號	一	二				
七	當事者ノ委任 交付ノ月日	二三 二ノ五 ㊞	二ノ五 ㊞				
八	當事者ノ委任 記錄號	二三 (リ) 一	二三 (ニ) 一				
九	當事者ノ委任 當事者ノ氏名	丙ヨリ丁ニ對ス	戊ヨリ巳ニ對ス				
十	當事者ノ委任 返納月日	二三 二ノ一〇	二ノ一〇				

一此委任簿ハ執達吏毎ニ一冊ヲ作ル

一第二欄第七欄ニハ書記月日ヲ記入シ執達吏領收ノ證トシテ之ニ捺印ス

一第四欄ニハ民事訴訟及非訟事件ナレハ當事者ノ氏名ヲ記入シ刑事ナレハ被告人ノ氏名ヲ記ス

一第五欄第十欄ニハ送達證書ノ正本ヲ書記課ニ返納シタルトキ又ハ交付證書ヲ書記課ニ差出シタルトキ書記其月日ヲ記入ス

第六號（規則第廿三條）

明治何年

和解事件簿

亻某區裁判所

			一	二	三		
一	毎年進行番號		一	二	三		
二イ	氏名身分職業住所	申立人	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某		
二ロ		相手人	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某		
三	期日ノ日月		二三 一ノ二〇	二ノ一五	三ノ一三		
四イ	期日ノ結果 出席	申立人	／	／	／		
四ロ		相手人	一		一		
四ハ	和解	調		和解調書記錄何冊五〇			
四ニ		不調	一				
五	目的物		五〇圓	九〇圓	二〇圓		
六	費用ノ計算						
七	備考		二三（八）二〇				

一第一欄ニハ毎年ノ進行番號ヲ記シ民事訴訟ト爲ルトキハ其進行番號ノ側ニ畫線シ且備考ノ欄ニ其訴訟ノ記錄號ヲ記入ス

一第四欄「イ」及「ロ」ノ小欄ニハ申立人及相手人出席シタルトキハ斜線ヲ施シ闕席シタルトキハ横線ヲ施シ之ヲ區別ス

「ハ」ノ小欄ニハ和解調ヒタルトキハ和解調書記錄ノ冊數及丁數ヲ記シ「ニ」ノ小欄ニハ和解不調ノトキ横線ヲ施ス

一第六欄ニハ和解ニ付要シタル各種ノ費用金額ヲ記入ス

第七號(規則第廿四條)

明治何年

督促事件簿

某區裁判所

欄	項目	一	二	三		
一	毎年進行番號	一	二	三		
二イ	氏名身分職業住所 債權者	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某		
二ロ	債務者	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某		
三	目的物	七〇〇圓	一〇五圓	一〇圓		
四	申請却下ノ月日					
五イ	月日 支拂命令	二三 二ノ三	二ノ四	二ノ四		
五ロ	異議申立	二三 二ノ六 ㊞				
五ハ	執行命令		二三 二ノ一九 ㊞	二ノ一九		
六	故障申立ノ記錄號			二三 (ハ) 七〇		
七	費用ノ計算					
八	備考		第二ノ執行命令書ヲ債權者ニ與フ 二三年二月三〇日 ㊞			

一 第四欄ニハ民事訴訟法第三百八十五條第一項ニ依リ支拂命令ヲ發スルコトノ申請ヲ却下シタルトキ其却下ノ月日ヲ記入ス

一 第五欄ニハ各小欄ノ區別ニ從ヒ其事件ノ月日ヲ記入シ「ロ」及「ハ」ノ小欄ニハ月日記入ノ外書記捺印ス欄ニ餘白ナキトキハ備考ノ欄ニ記入シ捺印ス

一 第六欄ニハ民事訴訟法第三百九十四條ニ依リ故障ヲ申立タルトキ規則第二十四條第六項ニ從ヒ記錄號ヲ記入ス

一 第七欄ニハ督促手續ニ付要シタル各種ノ費用金額ヲ記入ス

第八號(規則第廿五條)

明治何年

事務ノ種類ニ依リ分チタルトキハ郡名ニ代ルニ種類ノ名稱ヲ以テス

何郡

民事事件簿

ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ

某區裁判所

番號	欄		二三			
一	起訴ノ月日		二三一ノ一四	一ノ一四	一ノ一五	一ノ一五
二	權利拘束トナリタル月日		二三一ノ一四	一ノ一四	一ノ一五	一ノ一五
三	原被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地		住所身分職業 原 何某 住所身分職業 被 何某	住所身分職業 原 何某 住所身分職業 被 何某	住所身分職業 原 何某 住所身分職業 被 何某	住所身分職業 原 何某 住所身分職業 被 何某
四	訴訟代理人ノ氏名				原代人 何某	
五	訴訟ノ目的物		買取米引渡	禁治産	貸金 三十五圓	貸金 十三圓
六	訴訟事件ノ毎年進行番號	イ 通常訴訟ハ	一		二	三
		ロ 證書訴訟及爲替訴訟ニ				
		ハ 禁治産ホ		一		
		ニ 公示催告ヘ				
		ホ 假差押假處分ト				
		ヘ 裁判所ニ繋屬シタル訴訟外ノ申立チ				
七	記錄	イ 既濟年度	二三	二三	二三	二三
		ロ 保存ノ終ル年	二九	二九	二九	二九
八	備考		控訴認可(認可ノ字ハ控訴判決アリシ後此ニ追記スルナリ)		原某訴訟上救助ヲ有ス	二二(ロ)一五(督促事件ヨリ本訴トナル即督促事件明治二二年ノ十五號ノ略字也)

一第一欄ニハ訴ヲ提起シタル月日ヲ記入ス

一第二欄ニハ權利拘束ト爲リタル月日ヲ記入ス(規則第二十五條第三項)

一第六欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ進行番號ヲ記入ス「ヘ」ノ小欄ニハ起訴前ノ證據保全ノ申請(民事訴訟法第三百六十六條第三項)又ハ起訴前ノ訴訟上救助ノ申請等(民事訴訟法第九十三條)ヲ記入ス

強制執行處分ニ因リ義務ヲ辨濟スル資力ナキ債務者ニ對シ家資分散者タルノ宣告ヲ爲シタルモノモ亦同欄ニ記入シ備考ノ欄ニ之ヲ表示ス

一第七欄「イ」ノ既濟年度トハ記錄ヲ既濟トシテ藏置スル年度ヲ謂フ以下既濟年度ノ欄皆同シ

第九號（規則第廿六條）

明治何年

執行事件簿

リ、ヌ、ル、ヲ

某區裁判所

欄	項目				
一	最初ノ書類ノ到來月日	二三 一ノ四	一ノ五	一ノ五	一ノ六
二 イ	氏名身分職業住所又ハ現在地 債權者	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某
二 ロ	氏名身分職業住所又ハ現在地 債務者	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某
三	代理人ノ氏名	債權者代理人 何某			
四	執行ノ目的物	配當手續	強制競賣	保證ヲ立テシメンコトノ申立	強制管理
五 イ	強制執行事件ノ毎年進行番號 配當 リ	一			
五 ロ	強制執行事件ノ毎年進行番號 不動産 競賣 ヌ		一		
五 ハ	強制執行事件ノ毎年進行番號 不動産 管理 ル				一
五 ニ	強制執行事件ノ毎年進行番號 強制執行ニ關スル自餘ノ申立 ヲ			一	
六 イ	記錄 既濟年度	二三	二三	二三	二三
六 ロ	記錄 保存ノ終ル年	二九	二九	二九	二九
七	備考				

一此事件簿ニハ既ニ裁判所ニ繋屬シタル強制執行又ハ強制管理ニ或ル債權者ノ參加スルモ之ヲ記載セス

一第五欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ進行番號ヲ記入ス「イ」ノ小欄ニハ總テノ配當事件（民事訴訟法第六百二十六條以下、第六百九十一條以下、第七百十七條）「ロ」ノ小欄ニハ不動産ノ強制競賣事件「ハ」ノ小欄ニハ不動産ノ強制管理事件「ニ」ノ小欄ニハ自餘ノ強制執行ニ關スル申立申請（民事訴訟法第六百六十四條第六百三十一條第七百十五條等）ノ進行番號ヲ記入ス

第五欄ニハ船舶ノ強制競賣ヲモ記入ス

第十號（規則第二十七條）

明治何年

民事期日簿

某區裁判所

何月何日

		一	二	三	四
一	毎日進行番號	一	二	三	四
二	記錄號	二三(ハ)一	二三(ニ)一〇	二三(ハ)一五	二三(ハ)二〇
三	原被告人ノ氏名	原 何某 被 何某	原 何某 被 何某	原 何某 被 何某	原 何某 被 何某
四	期日ノ時刻	午前 九	午前 九半	午前 一〇	午前 一〇半
五	訴訟代理人ノ氏名	原代人 何某			
六	訴訟ノ目的物	貸金 四十圓	貸金 八圓	貸家明渡	宿料 拾壹圓
七	對審ノ毎年進行番號			一	
八 イ	口頭辯論ノ結果 闕席判決又ハ抛棄認諾ニ基ク判決	ハ	ニ		
ロ	其他ノ終局判決			ハ	
ハ	中間判決				
ニ	和解				
ホ	證據決定				
ヘ	其他ノ結果				
九	口頭辯論ナキ期日ノ終局				ハ
十	判決ノ原本ヲ領收シタル月日	二三 一ノ四	一ノ四	一ノ四	一ノ四
十一	備考				

一第七欄ニハ對審ヲ爲シタル事件ニ限リ記入ス闕席判決、期日延期、和解ノ類ニテ對審ヲ爲サヽルモノハ之ニ記入セス

一第八欄ニハ各事件ノ口頭辯論ノ結果ヲ見ル爲ニ小欄ノ區別ニ從ヒ其事件ノ符號文字ヲ記入ス

右第八欄中「イ」ノ小欄ニハ闕席判決(民事訴訟法第二百四十六條以下)抛棄、認諾ニ基ク判決(民事訴訟法第二百二十九條)ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ「イ」ノ小欄ニ記入セサル總テノ終局判決ヲ記入シ(民事訴訟法第二百二十五條第二百二十六條第二百七條第二百二十八條第四百九十一條)「ハ」ノ小欄ニハ中間判決ヲ記入シ(民事訴訟法第二百二十七條)「ニ」ノ小欄ニハ和解ヲ記入シ(民事訴訟法第二百二十一條)「ホ」ノ小欄ニハ證據決定ヲ記入シ(民事訴訟法第二百七十四條)「ヘ」ノ小欄ニハ上段ノ各小欄ニ記入セサル結果ヲ記入ス即チ訴ノ取下ノ類是レナリ(民事訴訟法第百九十八條第三百七十三條)

一第九欄ニハ辯論ヲ延期シタルモノヽ如キヲ記入ス(民事訴訟法第百六十九條)

一第十欄ニハ書記ニ於テ判決ノ原本ヲ領收シタル月日ヲ記入ス(民事訴訟法第二百三十七條)

第十一號(規則第三十條)

明治何年

刑事期日簿

某區裁判所

何月何日

欄	項目	一	二	三	四
一	毎日進行番號	一	二	三	四
二	記錄號	二三(は)一五〇	二三(に)一五一	二三(は)一四八	二三(に)二三六
三	被告人ノ氏名	何某	何某	何某 外何人	何某
四	期日ノ時刻	午前九半	午前一〇	午前一〇半	午前一一
五	一原告官氏名 二民事原告人氏名	一何某	一何某	一何某 二何某	一何某
六	一代人氏名 二辯護士氏名	一何某		二何某	
七	罪名	脅迫	罵詈	賭博	花火
八イ	公判ノ結果 判決	は	に		に
八ロ	公判ノ結果 無判決			は	
九イ	言渡ヲ受ケタル者ノ毎年進行員數 有罪	一			
九ロ	言渡ヲ受ケタル者ノ毎年進行員數 無罪		一		二
十	判決ノ原本ヲ領收シタル月日				
十一	備考			新期日一月十五日	

一第八欄ニハ公判開廷ノ結果ヲ見ル爲ニ小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ符號文字ヲ記入ス但「イ」ノ小欄ニハ總テ本案ノ裁判ヲ爲シタルモノヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ期日ニ判決ナカリシモノヲ記入ス(例ヘハ公判ヲ延期シタルモノ、類ノ如シ)

一第九欄ニハ一ケ年間ニ言渡ヲ受ケタル者ノ數ヲ見ル爲ニ其進行員數ヲ記入ス(例ヘハ第二番號ノ被告人一人アレハ一ト記入シ第四番號ノ被告人一人アレハ第二番號ノ一人ト合シテ二ト記入スルノ類ノ如シ)但有罪、無罪ハ格別ニ數ヲ起シ記入ス